

# くさのクローバー新聞

★鼻粘膜レーザー治療のご予約について★

鼻粘膜レーザー治療のご予約を12月29日(金)まで受け付けております

気になる方はパンフレットや動画での説明もしておりますので、お近くのスタッフまでお声掛けください。

★当院が週刊新潮さまに掲載されました!★

10月19日発売の週刊新潮「注目の名医」にて当院理事長の草野謙一郎先生が掲載されました!詳しくは裏面に掲載しておりますのでぜひご覧ください。



## お正月休みのお知らせ

	午前	午後
12/29(金)	○	×
12/30(土)	×	×
12/31(日)	×	×
1/1(月)	×	×
1/2(火)	×	×
1/3(水)	×	×
1/4(木)	○	○

12/29の午後は休診となっておりますので、お間違いのないようお願いいたします。

### 小児の急性中耳炎

#### 症状

3歳以下のお子さんの80%が一度はかかります。カゼなどの鼻水が原因で鼓膜の奥に細菌やウイルスが入り、急性の炎症がおきてウミがたまる病気で一般の方が思われているようなの外から水や菌が入って急性中耳炎になる事はほとんどありません。耳の痛み、発熱、耳だれ耳漏などがおこります。

#### 治療内容

- ・耳の中をきれいにします。
- ・原因と考えられるお鼻の治療をします。
- ・耳漏が出ている場合は、耳漏を取り除いて点耳をします。
- ・耳漏がある時は、できるだけ毎日通院をしましょう。耳漏を吸引し、耳漏の中に存在する細菌を減らしてから点耳をすることでより早く治ります。

#### ★注意してもらいたいこと★

通常、治るまでには2週間程度かかることが多いです。完全に治るまで治療継続が必要です。痛みがなくなったから急性中耳炎が治ったというわけではありません。急性中耳炎の時は、ほとんどの場合、鼻水がでています。出来るだけ通院し、お鼻の治療をしたほうが早く治ります。少なくともお薬がなくなる頃には受診をお願いします。鼻や耳管の状態が悪いと、頑張って治療を行っても滲出性中耳炎になることがあります。

詳しくは当院のホームページもご覧ください。



## 院長より

### 「週刊新潮さまへ掲載されるまで」

今年（2017年）3月23日木曜日のお昼休みに突然、週刊新潮の記者の方からお電話があり、「週刊新潮の＜注目の名医＞に記事を書かせていただけないですか？」とお願いされました。

週刊新潮さまは全国区の週刊誌ですし、最初は本当かな？という気持でした。それから何度か担当の方とやりとりを行っていくうちに、本当に週刊新潮さんだ！と確信しました。地元佐賀県での当院の噂を聞きつけて、花粉症やアレルギー性鼻炎に対する鼻粘膜レーザー治療や舌下免疫療法を記事にしたいとのことでした。

9月6日水曜日の13時に週刊新潮の2名の記者の方が来院されました。東京から福岡まで飛行機、福岡から武雄までJRで遠路遙々です。感謝の一言に限ります。当院で1時間ちょっとのインタビューを受け、そのやり取りは録音されていました。その後、私の顔写真と当院の外観の写真を撮っていただきました。

とても気さくで優秀なプロの記者の方々に来ていただいたおかげでスムーズに終了しました。終了後は私が武雄温泉駅まで車でお送りしました。

その1週間後に初稿が送られてきて、何度かやりとりを行い、9月24日に最終原稿が完成しました。そして、10月19日木曜日に発売された週刊新潮さまに当院の記事が掲載されました。週刊新潮さまに耳鼻咽喉科が掲載されるのは初めてだそうです。患者様はもとより、佐賀県の色々な方々、日本全国の様々なドクターの皆様から多くの反響をいただきました。

今後もこの週刊新潮さまの記事を胸に秘めて、患者様へ更に適切な医療を提供し、多くの患者様の症状を軽減したり、病気を治していきたいと思っています。

当院のスタッフも自分のスキルを高める努力を日々怠らずに頑張ってくれると思います。

今後ともどうぞ くさの耳鼻咽喉科をよろしく願いいたします。

くさの耳鼻咽喉科 院長 草野謙一郎

\*週刊新潮さまの記事は当院ホームページの「メディア掲載情報」でいつでも見ることができます、当院の待合室にも置いておりますので、ご自由にお持ち帰りください。

